

シラバス 国語科

教科名	第3学年 国語科	担当者 長阪 将志
-----	----------	-----------

【 学習到達目標 】

- ・語彙力を高め、自分の考えや思いを的確に伝えることができる。
- ・学習通じて、話の趣旨をつかむことができたり、相手の思いを適切に受け止めたり、自分の考えや事実などを適切に述べたりすることを身につける。
- ・話の内容や文章の大切な部分を適切に読み取ることができる。
- ・読書を通じて、新たな発見や気づきを増やし、多面的な考え方を学ぶことができる。
- ・国語に興味を持ち、探究していく姿勢を養う。

【 学習方法やポイント 】

- ・意味が分からない語句は積極的に辞書等で調べましょう。
 - ・黒板に書かれたことだけでなく、自分で調べたことをメモするようにしましょう。
 - ・国語の学習にこだわらず、様々な事柄に積極的に興味をもち、調べましょう。
 - ・積極的に参加し、挑戦をしていきましょう。
 - ・様々なジャンルの文章を読む機会を増やしていきましょう。
 - ・文章を書くことをいとわず、思いを言葉にするようにしましょう。
- * 下記の予定表は都合により学ぶ順番が変わることがあります。

【 年間学習計画表 】

学期	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
1 学期	「世界はうつくしいと」 「握手」	・詩の構成や展開を考える。 ・小説の読解。 ・心情表現に注目して読み、人物像を捉える。	・語句の意味を知る。 ・詩の構成や展開の有効性を考える。 ・心情理解と人物像の把握を関連させて読み深める。 ・登場人物の生き方について考える。
	「学びて時に之を習ふー『論語から』」	・「論語」を書き下し文に直し、現代語訳する。	・漢文の読み方や基礎知識を復習する。 ・「論語」について知る。
	「情報の信頼性」	・情報が編集されていることを知り、信頼性の確かめ方を考える。	・情報の信頼性には違いがあることに気づく。 ・信頼性の確かめ方を学ぶ。
	「熟語の読み方」	・音読みと訓読みの違いを知る。 ・重箱読みと湯桶読みを理解する。	・熟語を読むときに、音読みか訓読みかを考えて、語句の理解に繋げようとすることを学ぶ。
	「作られた『物語』を超えて」	・論説文の構成を考える。 ・結論に迫る本論の展開を読み取る。	・文章の構成や論理の展開を評価する。 ・文章における具体と抽象の関係を捉える。
	「文法を生かす」	・既習の文法の知識を生かし、正しい日本語について考える。	・不自然な日本語や文意が通りづらい日本語について改善方法を考える。
	「実用的な文章を読もう」	・実際のパンフレットなどに目を向け、書き手の工夫点について考える。	・実用的な文章の構成や表現方法について理解する。
	「報道文を比較して読もう」	・実際の報道文を、さまざまな着眼点から比較する。	・情報を受け取るときに、書き手の意図について考える態度を身につける。
	「俳句の可能性」	・俳句を音読する。	・俳句の形式や特徴を理解し、俳句の世界を楽しむ。
	「俳句を味わう」	・表現技法を理解しながら、俳句の情景を読み取る。 ・好きな俳句を考える。	・文法を生かし、文節の繋がりや、語感について考える。

<p>2 学 期</p>	<p>「和語・漢語・外来語」</p> <p>「説得力のある構成を考えよう」</p> <p>「君待つと」</p> <p>「夏草—『おくのほそ道』から」</p> <p>「故郷」</p> <p>「慣用句・ことわざ・故事成語」</p> <p>「人工知能との未来」</p> <p>「人間と人工知能と創造性」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 和語・漢語・外来語の表現を比較し、感じ方の違いを伝え合う。 社会で起きている出来事や問題の中で、多くの人に伝えたいと思ったことを選び、話題にする。 現代語訳や語注を参考に、和歌に詠まれた心情や情景を想像し用いられている表現技法について知る。 芭蕉のものの見方や感じ方を読み取る。 「夏草」の、表現や文体の特徴を挙げる。 作品を通読し、作品の設定を捉える。 場面や登場人物の設定に着目して読み取る。 ことわざや故事成語の意味を調べる。 誤用の例を、生活を振り返って探してみる。 文章の要旨を捉える。 文章の比較を基に自分の考えを文章にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分ける。 目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討する。 歴史的背景などに注意して古典を読むことを通してその世界に親しむ。 和歌の表現のしかたについて評価する。 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつ。 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。 社会の在り方などについて、根拠に基づいて自分の意見を述べる。 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし慣用句や四字熟語などについて理解を深める。 自分の立場を明確にして、根拠となる文章や事実を引用するなどして、説得力のある意見を書く。
<p>3 学 期</p>	<p>「音読を楽しもう 初恋」</p> <p>「誰かの代わりに」</p> <p>「ない」の違いがわからない？</p> <p>「温かいスープ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 語句の意味や表現に込められた作者の思いを読み取る。 社会や人間に対する筆者の考えと自分の考えを比較し、共通点と相違点を述べる。 三年間の文法の学習を思い出し、文の組み立てや単語の種類と働きなどについて復習する。 筆者の考える「国際性」とは何かを読み取る。 	<ul style="list-style-type: none"> 必要な語句の量を増やし、語感を磨き、語彙を豊かにする。 社会や人間に対する筆者の考えについて、自分の考えをまとめる。 単語の類別について理解するとともに単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解する。 文章に表現された人と人との関係を通して、国際性とは何かを読み取る。

【評価について】

以下の3つの観点に基づき、みなさんの学習の様子を総合的に評価します。

○知識・技能

主に、定期テスト、授業での課題、提出物から評価します。

○思考・判断・表現

主にスピーチ、定期テスト、授業での課題、提出物から評価します。

○主体的に学習に取り組む態度

主に授業中の様子、振り返り活動、小テスト、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の評価項目から評価します。